

# リウマチ性疾患ケア指導患者名簿

番号	患者名 (イニシャル)	施設名	患者番号※	性別	年齢	診断名	主なケアと指導の内容
1	A. B.	リウマチ財団病院 リウマチセンター	A101	男 ・ ⊗	30歳代	RA	日常生活上の留意点、異常時の対応と家族への対応、今回は特にMTX誤内服の説明を行った。
2	B. C.	ザイダン クリニック	B102	男 ・ ⊗	40歳代	RA	肺合併症への不安に傾聴し、担当医の説明を解りやすく説明し、感染予防の具体的方法を説明。
3	C. D.	リウマチ財団病院 整形外科	C103	男 ・ ⊗	50歳代	RA	TKAの入院、手術に対する不安の軽減、術後のリハビリの重要性と退院後の自宅リハビリについて他の医療職と連携して指導。
4	D. E.	ザイダン クリニック	D104	⊗ 男 ・ 女	40歳代	痛風	痛風発作時の頓服薬の使用法、生涯治療の必要性の説明、生活習慣の是正の支援を行う。
5	E. F.	リウマチ財団病院 内科	E105	男 ・ ⊗	20歳代	SLE	紹介治療入院であり、疾患受容と共生の方法を患者の不安、悩みに配慮して指導・支援。
6	F. G.	リウマチ小児科 医院	F106	⊗ 男 ・ 女	10歳代	若年性特発性 関節炎	小学校高学年児であり、院内学級での学習支援、母親へ成長障害の不安へのケアを行う。
7	G. H.	リウマチ財団病院 整形外科	G107	男 ・ ⊗	40歳代	線維筋痛症	認知行動療法実践の支援、相談、説明、患者会への参加、患者交流会への参加を促した。

8	H. I.	リウマチ内科医院	H108	男 ・ ⊕	50 歳 代	シェーグレン 症候群	根治療法がなく、対症療法 しかない点での不安、受診 中断傾向に対して、保険薬 局薬剤師と連携して一課 題ずつ指導。
9	S. T.	リウマチ内科医院	I109	男 ・ ⊕	60 歳 代	シェーグレン 症候群	口腔乾燥に対するセルフ ケアを具体的に説明し、チ ェックリストなどで評 価するよう指導。
10	T. U.	リウマチ財団病院 リウマチ外来	J110	⊕ ・ 女	30 歳 代	多発血管炎性 肉芽腫症 (ウエ ゲナー肉芽腫 症)	希少難病への不安と長期 入院による焦燥感に対し て、院内臨床心理士と連携 して指導とケア。

申請者氏名 財団 花子

※患者番号は、後日照会があった際に識別可能な任意の番号とします。(診療録等の ID 番号は使用しないでください。)

※番号 1～3 については、RA (関節リウマチ) を記入してください。

※本申請に記載可能な略語は、次の通りです。下記以外の病名や薬物名の略語の使用はできませんので、full term でご記入をお願いします。

【病名】

OA：変形性関節症 (osteoarthritis)

RA：関節リウマチ (rheumatoid arthritis)

SLE：全身性エリテマトーデス (systemic lupus erythematosus)

【薬物名】「日本リウマチ学会リウマチ学用語・WEB 検索」 (<https://www.ryumachi-jp.com/yougo/search.php>) 参照

・副腎皮質ステロイド (グルココルチコイド)

PSL：プレドニゾロン

・従来型抗リウマチ薬 (csDMARDs)

BUC：ブシラミン

LEF：レフルノミド

MTX：メトトレキサート

SASP：サラゾスルファピリジン

TAC：タクロリムス

・生物学的製剤 (bDMARDs)

ABT：アバタセプト

ADA：アダリムマブ

CZP：セルトリズマブ ペゴル

ETN：エタネルセプト

GLM：ゴリムマブ

IFX：インフリキシマブ

TCZ：トシリズマブ